【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【公開番号】特開2018-125009(P2018-125009A)
【公開日】平成30年8月9日(2018.8.9)
【年通号数】公開・登録公報2018-030
【出願番号】特願2018-36819(P2018-36819)
【国際特許分類】
*Ｇ０６Ｆ　13/00　(2006.01)*
*Ｇ０６Ｑ　50/00　(2012.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　13/00　５１０Ｇ
Ｇ０６Ｆ　13/00　６５０Ｒ
Ｇ０６Ｑ　50/00　３００

【手続補正書】
【提出日】平成30年9月24日(2018.9.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
交流希望者同士が端末を操作することによりコンピュータを利用してネットワークを介してのコミュニケーションにより交流を支援するコンピュータシステムであって、
複数の交流先のリストを前記端末に表示させるための制御を行なう交流先リスト表示制御手段と、
前記交流先リスト表示制御手段により表示された複数の交流先の内からコミュニケーションを希望する交流先を選択指定し、該選択指定した者と選択指定された交流先の相手とが端末を操作して入力した内容を互いに伝え合ってメッセージを送受信できるように該入力内容を前記端末に報知させるための入力内容報知手段と、
前記交流先を追加するための予め定められた追加条件が満たされたか否か判定する追加条件判定手段と、
前記追加条件判定手段により前記追加条件が満たされたと判定された場合に、新たな交流先として前記交流先のリストに追加する交流先追加処理を行う交流先追加手段と、を備え、
前記追加条件判定手段は、前記コンピュータに送信されてきた位置情報に基づいた位置判定を行う位置判定手段を含み、該位置判定手段により所定の地理的エリア内にいると判定された者同士の内の一方が相手方に対して交流の申し出を行ない、相手方も交流に同意した場合に、前記追加条件が満たされたと判定し、
前記コンピュータ側からの制御に基づいて前記交流先のリストを前記端末に表示させることにより、前記交流希望者同士が連絡先の個人情報を通知することなく交流できるようにした、コンピュータシステム。
【請求項２】
交流希望者同士がコンピュータを利用してネットワークを介してのコミュニケーションにより交流を支援するために端末により実行されるプログラムであって、
位置情報を前記コンピュータへ送信する位置情報送信ステップと、
前記端末の報知部を制御する報知制御ステップとを、前記端末に実行させ、

前記表示制御ステップは、
複数の交流先のリストを表示するための交流先リスト表示制御ステップと、
前記表示された複数の交流先の内からコミュニケーションを希望する交流先を選択指定し、該選択指定した者と選択指定された交流先の相手とが端末を操作して入力した内容を互いに伝え合ってメッセージを送受信できるように該入力内容を報知するための入力内容報知ステップと、を含み、さらに、
前記コンピュータは、
前記交流先を追加するための予め定められた追加条件が満たされたか否か判定する追加条件判定手段と、
前記追加条件判定手段により前記追加条件が満たされたと判定された場合に、新たな交流先として前記交流先のリストに追加する交流先追加処理を行う交流先追加手段と、を含んでおり、
前記追加条件判定手段は、前記位置情報送信ステップにより送信されてきた位置情報に基づいて位置判定を行う位置判定手段を含み、該位置判定手段により所定の地理的エリア内にいると判定された者同士の内の一方が相手方に対して交流の申し出を行ない、相手方も交流に同意した場合に、前記追加条件が満たされたと判定し、
前記コンピュータ側からの制御に基づいて前記交流先のリストを前記表示部に表示させることにより、前記交流希望者同士が連絡先の個人情報を通知することなく交流できるようにした、プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明は、交流希望者同士が端末（例えば、携帯電話２）を操作することによりコンピュータ（たとえば、サーバ１０、２１等）を利用してネットワークを介してのコミュニケーションにより交流を支援するコンピュータシステムであって、
複数の交流先のリストを前記端末に表示させるための制御を行なう交流先リスト表示制御手段（たとえば、Ｓ１９のステップの代わりに、「受信した可変共有仮想タグ用ＩＤから特定されるユーザＩＤの携帯電話と共有仮想タグ生成依頼者の携帯電話とに共有仮想タグを送信する」とのステップ、ユーザによる携帯電話２の入力操作部３７の操作に従って、このＥＥＰＲＯＭ４２に記憶されている共有仮想タグのリストが表示部３５に表示される。または、図５に基づいて説明した共有仮想タグへのアクセス方法は、共有仮想タグに限定されるものではなく、他のタグ、例えば、歴史タグ、コミュニティ仮想タグ、契約用共有仮想タグ、業務用共有仮想タグ等に適用してもよい。図５で説明したように、このコミュニティ仮想タグを共有仮想タグと同様にＥＥＰＲＯＭ４２に記憶しておき、ユーザがコミュニティ仮想タグの一覧を表示させる操作を行なってその一覧表示の中からアクセスしたいコミュニティ仮想タグを選択してクリックする。）と、
前記交流先リスト表示制御手段により表示された複数の交流先の内からコミュニケーションを希望する交流先を選択指定し（たとえば、Ｓ８９、Ｓ９０、Ｓ４２４）、該選択指定した者と選択指定された交流先の相手とが端末を操作して入力した内容を互いに伝え合ってメッセージを送受信できるように該入力内容を前記端末に報知させるための入力内容報知手段（たとえば、Ｓ９１、Ｓ９３、Ｓ９４、Ｓ４３０、Ｓ４３７、Ｓ４３８、共有仮想タグに対応したWebページにＳ９３で書込んだ内容をＳ９４で記憶し、図１の（Ａ氏書き込み）（Ｂ氏書き込み）等を閲覧することによりメッセージを送受信して、または、音声仮想タグは、メッセージを音声で伝えることができる仮想タグである。）と、
前記交流先を追加するための予め定められた追加条件が満たされたか否か判定する追加条件判定手段（例えば、Ｓ１５、Ｓ１６、Ｓ１６ａ～Ｓ１６ｄ、またはＳ４３３～Ｓ４３５、または、共有仮想タグ生成の申し出を行ない相手方が同意したことを確認する）と、

前記追加条件判定手段により前記追加条件が満たされたと判定された場合に、新たな交流先として前記交流先のリストに追加する交流先追加処理を行う交流先追加手段（たとえば、Ｓ１８、Ｓ１９、または、Ｓ１８、Ｓ１９のステップの代わりに、「受信した可変共有仮想タグ用ＩＤから特定されるユーザＩＤの携帯電話と共有仮想タグ生成依頼者の携帯電話とに共有仮想タグを送信する」とのステップを用いる。この処理により、共有仮想タグがバーチャル世界ではなく当事者の端末（携帯電話等）に記憶さる。または、Ｓ４１６、Ｓ４２３）と、を備え、

前記追加条件判定手段は、前記コンピュータに送信されてきた位置情報に基づいた位置判定を行う位置判定手段（たとえば、Ｓ１６とＳ１６ｄ、または、Ｓ４３４とＳ４３５、または、Ｓ３２による位置データの更新ばかりでなく、過去の位置データと時刻データも履歴としてユーザデータベース１１に記憶しておき、ユーザデータベース１１に記憶されている位置データと時刻データとの履歴データに基づいて、コンタクト申し出者が指定した出会った地理的位置と時間とに一致する履歴データの相手を検索する）を含み、該位置判定手段により所定の地理的エリア内にいると判定された者同士の内の一方が相手方に対して交流の申し出（たとえば、共有仮想タグ生成の申し出）を行ない、相手方も交流に同意した場合に（共有仮想タグ生成の申し出に対して、相手方が同意すれば）、前記追加条件が満たされたと判定し、

前記コンピュータ側からの制御に基づいて前記交流先のリストを前記端末に表示させることにより、前記交流希望者同士が連絡先の個人情報を通知することなく交流できるようにした（たとえば、Ｓ１９およびＳ８４～Ｓ８７、または、Ｓ１９のステップの代わりに、「受信した可変共有仮想タグ用ＩＤから特定されるユーザＩＤの携帯電話と共有仮想タグ生成依頼者の携帯電話とに共有仮想タグを送信する」とのステップ、ユーザによる携帯電話２の入力操作部３７の操作に従って、このＥＥＰＲＯＭ４２に記憶されている共有仮想タグのリストが表示部３５に表示される。）。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】

本発明の他の局面では、交流希望者同士がコンピュータ（たとえば、サーバ１０、２１等）を利用してネットワークを介してのコミュニケーションにより交流を支援するために端末（例えば、携帯電話２）により実行されるプログラムであって、

位置情報を前記コンピュータへ送信する位置情報送信ステップ（たとえば、Ｓ９、会員ユーザが自己の携帯電話２のＧＰＳ機能をＯＮにすれば、その携帯電話２からユーザＩＤと現在位置を示すＧＰＳデータとがサービスプロバイダ８のサーバ１０へ送信されて来る。）と、

前記端末の報知部（たとえば、表示部３５と音声出力部３８ａ）を制御する報知制御ステップ（たとえば、Ｓ１９、ユーザによる携帯電話２の入力操作部３７の操作に従って、このＥＥＰＲＯＭ４２に記憶されている共有仮想タグのリストが表示部３５に表示される。Ｓ９２等）とを、前記端末に実行させ、

前記表示制御ステップは、

複数の交流先のリストを表示するための交流先リスト表示制御ステップ（たとえば、Ｓ１９のステップの代わりに、「受信した可変共有仮想タグ用ＩＤから特定されるユーザＩＤの携帯電話と共有仮想タグ生成依頼者の携帯電話とに共有仮想タグを送信する」とのステップ、ユーザによる携帯電話２の入力操作部３７の操作に従って、このＥＥＰＲＯＭ４２に記憶されている共有仮想タグのリストが表示部３５に表示される。または、図５に基づいて説明した共有仮想タグへのアクセス方法は、共有仮想タグに限定されるものではなく、他のタグ、例えば、歴史タグ、コミュニティ仮想タグ、契約用共有仮想タグ、業務用共有仮想タグ等に適用してもよい。図５で説明したように、このコミュニティ仮想タグ

を共有仮想タグと同様にＥＥＰＲＯＭ４２に記憶しておき、ユーザがコミュニティ仮想タグの一覧を表示させる操作を行なってその一覧表示の中からアクセスしたいコミュニティ仮想タグを選択してクリックする。）と、

前記表示された複数の交流先の内からコミュニケーションを希望する交流先を選択指定し、該選択指定した者と選択指定された交流先の相手とが端末を操作して入力した内容を互いに伝え合ってメッセージを送受信できるように該入力内容を報知するための入力内容報知ステップ（たとえば、Ｓ９２、Ｓ９３、Ｓ４２９、Ｓ４３０、共有仮想タグに対応したWebページにＳ９３で書込んだ内容をＳ９４で記憶し、図１の（Ａ氏書き込み）（Ｂ氏書き込み）等を閲覧することによりメッセージを送受信して、または、音声仮想タグは、メッセージを音声で伝えることができる仮想タグである。）と、を含み、さらに、

前記コンピュータは、

前記交流先を追加するための予め定められた追加条件が満たされたか否か判定する追加条件判定手段（例えば、Ｓ１５、Ｓ１６、Ｓ１６ａ～Ｓ１６ｄ、またはＳ４３３～Ｓ４３５、または、共有仮想タグ生成の申し出を行ない相手方が同意したことを確認する）と、

前記追加条件判定手段により前記追加条件が満たされたと判定された場合に、新たな交流先として前記交流先のリストに追加する交流先追加処理を行う交流先追加手段（たとえば、Ｓ１８、Ｓ１９、または、Ｓ１８、Ｓ１９のステップの代わりに、「受信した可変共有仮想タグ用ＩＤから特定されるユーザＩＤの携帯電話と共有仮想タグ生成依頼者の携帯電話とに共有仮想タグを送信する」とのステップを用いる。この処理により、共有仮想タグがバーチャル世界ではなく当事者の端末（携帯電話等）に記憶さる。または、Ｓ４１６、Ｓ４２３）と、を含んでおり、

前記追加条件判定手段は、前記位置情報送信ステップにより送信されてきた位置情報に基づいて位置判定を行う位置判定手段（たとえば、Ｓ１６とＳ１６ｄ、または、Ｓ４３４とＳ４３５、または、Ｓ３２による位置データの更新ばかりでなく、過去の位置データと時刻データも履歴としてユーザデータベース１１に記憶しておき、ユーザデータベース１１に記憶されている位置データと時刻データとの履歴データに基づいて、コンタクト申し出者が指定した出会った地理的位置と時間とに一致する履歴データの相手を検索する）を含み、該位置判定手段により所定の地理的エリア内にいると判定された者同士の内の一方が相手方に対して交流の申し出（たとえば、共有仮想タグ生成の申し出）を行ない、相手方も交流に同意した場合に（共有仮想タグ生成の申し出に対して、相手方が同意すれば）、前記追加条件が満たされたと判定し、

前記コンピュータ側からの制御に基づいて前記交流先のリストを前記表示部に表示させることにより、前記交流希望者同士が連絡先の個人情報を通知することなく交流できるようにした（たとえば、Ｓ１９およびＳ８４～Ｓ８７、または、Ｓ１９のステップの代わりに、「受信した可変共有仮想タグ用ＩＤから特定されるユーザＩＤの携帯電話と共有仮想タグ生成依頼者の携帯電話とに共有仮想タグを送信する」とのステップ、ユーザによる携帯電話２の入力操作部３７の操作に従って、このＥＥＰＲＯＭ４２に記憶されている共有仮想タグのリストが表示部３５に表示される。）。